

県知事・県議選挙

投票日 **4月8日**

告示日 ● 3/22 (県知事) 3/30 (県議)

古賀市議会議員一般選挙

投票日 **4月22日**

告示日 ● 4/15

問い合わせ ● 市選挙管理委員会

2007年1月号(平成19年1月10日発行)第600号



熱戦が繰り広げられた運動会



今年もみごとだった菜の花



スケボーパークは連日のにぎわい



ピンと張りつめた緊張感



イベントを盛り上げてくれた玄海太鼓

2007



傑作写真
募集
おもしろニュース

あなたが撮った写真やおもしろニュースを「広報こが」・古賀市のホームページに掲載しませんか。係では皆さんからの“傑作”を募集中。

応募要領 おもしろニュースや写真には簡単な説明文、それに投稿者の連絡先を必ず記入してください。写真はデジタル・銀塩(フィルム写真)など、何でもOK。サイズも自由です。

応募先 古賀市企画課広報係
郵送の場合は

〒811-3192 古賀市役所企画課広報係

問い合わせ先

☎942-1111 内線315・316番

Eメール pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

CONTENTS

JANUARY

- 福岡女学院看護大学(仮称) …… 2～3p
- 古賀市長 新年のあいさつ …… 2～3p
- 都市づくり新時代 …… 4p
- こどけんカルタ完成! …… 5p
- ひろば …… 6～7p
- My Life …… 8p
- 図書館だより …… 9p
- 生活情報 …… 10～11p
- ヒューマンライツ …… 12p



話題となった西鉄宮地岳線



可憐なはすの花



法律相談がより身近に、より便利に



緊張した面持ちで稚児行列



みんなの力で作り上げた砂山アート



◀ オレンジ色の屋根にベージュ色の4階建て新校舎。広い実習室、図書室、コンピュータ室、学生ラウンジなどが完備。場所は独立行政法人国立病院機構福岡東医療センターと同じ敷地です。母体となる福岡女学院は、これまで人文系の学部学科の大学を福岡市に開設していますが、福岡東医療センター、古賀市などの要望を受け、初の看護大学を古賀市に新設します。入学定員数100人で、平成20年4月に開校予定です。



の要望を受け、初の看護大学を古賀市に新設します。入学定員数100人で、平成20年4月に開校予定です。

お問い合わせ
 学校法人 福岡女学院 本部 経営計画室
 福岡市南区日佐3-42-1
<http://www.fukujo.ac.jp/>
 ☎ 575局2949番 E-mail: kango@fukujo.ac.jp

古賀市初の4年制大学 福岡女学院看護大学 (仮称) が誕生

2008年4月開校予定

DREAM

2007



121年の歴史ある学校法人福岡女学院が設置する福岡女学院看護大学(仮称)が古賀市に誕生します(2008年開校予定)。

同看護大学は「病める人、健康な人と共に生きる新しい時代の看護大学」というコンセプトのもと、隣接する福岡東医療センターと緊密に連携する体制を整えます。もちろん、科学的にも技術的にも精神的にも高度でバランスのとれた教育の中で、医療との連携、チーム医療の要として活躍する人材や地域ニーズに対応できる人材の養成を目指しています。

古賀市内初の4年制大学の設置であり、市民の保健医療水準の向上や地域振興にも大きな役割が期待されます。福岡女学院看護大学の誕生はもうすぐです。



古賀市長 中村 隆象(58歳)

古賀市民の皆様、
あけましておめでとうございます。

これからも市民の皆様とともに古賀市のまちづくりに取り組んでいくことができますことをたいへんうれしく思います。

さて、今年からいよいよ行政財政改革本番を迎えます。

今後、市民の皆様のご協力を仰ぎながら、古賀市の永続的発展のために大胆な行政財政改革を断行してまいります。多少の痛みを伴うこともありましようが、みんなで心を合わせ、力を合わせて乗り切っていきたいと思えます。

そこで、本年のテーマは「元気なまちづくり」とさせていただきます。厳しい時こそ元気を出して、明るくやっていきたいと思います。

そしてその具体的な内容は

- 一 健康づくり
- 二 子育て支援
- 三 地域ぐるみの青少年育成
- 四 文化・芸術の振興
- 五 人権施策の確立
- 六 防犯対策の充実

足元をしっかり固めて、輝く未来へ飛び立ちたいと思えます。

今年も皆様によいことがたくさんありますようにお祈りいたしております。



平成十九年一月
古賀市長
中村 隆象

都市づくり 新時代

●今月号では、このシリーズの目的やこれまでの取り組みについて紹介します。

都市計画区域外で さまざまな問題が発生

このシリーズでは、これまでに
①都市づくりを計画的に行う区域である「都市計画区域」が昭和45年(1970年)に市全体面積の約2分の1に指定されたこと。
②残りの2分の1の区域は都市計画法の規制の及ばない「都市計画区域外」となり、計画性のない開発が徐々に進行したこと。

③その結果、住居や田畑と隣り合わせに建築された工場などから発生する騒音や振動の問題、雑排水が田畑へ流出するといった問題、また、計画性のない無秩序な開発によって建築物が狭い道路にしか面していないといった問題などにより、生活環境が悪化してきたこと。

平成22年(2010年)までに 市全域を 都市計画区域に

こうした問題を解決するため、市では平成22年(2010年)までにこの都市計画区域外の区域を都市計画区域(市街化調整区域)にする方針で、

現在、取り組みを進めています。

その目的としては、

- 計画性が不十分な開発を抑制し、農林業や自然環境との調和のとれた秩序ある土地利用を進めます
- 都市計画法に基づき、計画的・段階的に優良なまちづくりを進めます
- 道路などの生活基盤の適切な整備を図ります
- 市全域を都市計画区域にすることによって、全体的な視点でのまちづくりを進めます

地域の将来は地域の中で

将来に向けて、計画的・段階的で優良な土地利用を進めるために、都市計画区域外の各地区(8地区)では「まちづくり委員会」が開かれています。

「まちづくり委員会」では市民の皆さんが主役になり、地域のよいところや問題点、また、将来、どのような地域にしたいかなどを意見交換し、地域の将来像となる「まちづくり構想(案)」を作成します。

すでに8地区中6地区で「まちづくり委員会」が終了し、残りの2地区(薦野区・町川原2区)でも、現在、進行中で今年度中には「まちづくり構想」が策定される見込みです。

シリーズ
これからの
都市計画
⑮



■問い合わせ先 古賀市役所 都市計画課土地利用対策室 ☎942局1111番(内線375)

古賀市子ども権利啓発推進用カルタ 「こどけんカルタ」完成!

市では、子どもたちが自身が自らの権利を学び、自らの言葉と絵でカルタを作成し、そのカルタを活用することで「児童の権利条約」を啓発推進しようと、平成16年度から3年にわたり事業に取り組んできました。

「広報こが」(平成18年9月号)でお知らせしたように、今年度は夏休みを利用し、小学生16人、中学生17人が4つの班に分かれ、話し合いながらカルタの読み札と取り札の絵を完成させました。

完成したカルタは、わかりやすく親しみが持てるように……との願いを込めて「こどけんカルタ」と名づけられました。

今後、作成したカルタは市内の小・中学校をはじめ、保育所・幼稚園などにも配布予定です。

子どもたちがカルタ遊びをしながら、自らの権利を学ぶ機会が増えてくれたらと願っています。



▲みんなで作った「こどけんカルタ」は、市中央公民館で開催した「第31回古賀市人権を尊重する市民の集い」(12月10日)の中でも展示されました。

子どもたちの 子どもたちによるカルタ

「子どもの権利考案隊(小学生16人・中学生17人)のメンバーが作成しました。自分たちの権利を自分たちで学ぼうと、集まった小学生5~6年生と中学校の美術部員からなるメンバーにより「こどけんカルタ」は作成されました。

こどけんカルタ 5つの特徴

4つの権利からなるカルタ

4つの権利ごとに、4色に分かれています。
赤…生きる権利
緑…育つ権利
青…守られる権利
黄…参加する権利

其の一

其の二

其の五

其の三

其の四

読み札が 5・7・5調文のカルタ

読み札(表) ……5・7・5調文
読み札(裏) ……条約原文
読み札の裏はカルタを使って遊ぶ際、学校の先生や保護者が指導しやすいように、厚生労働省が訳した児童の権利条約の原文を掲載しました。

愛称に温かい願いが 込められたカルタ

「こどけんカルタ」という愛称は子どもたちによって名づけられました。子どもたちのアイデアの中から「考案隊」全員が投票。みんながわかりやすく、親しみを持てるように……との願いを込めて、最終的に「こどけんカルタ」という愛称になりました。

取り札の絵が個性豊かなカルタ

取り札(表) ……子どもたちによる絵
取り札(裏) ……子どもたちの感想
読み札にあわせて取り札の絵を描きました。子どもらしい個性豊かなすばらしい作品に仕上がりました。取り札の裏には、「なぜ、その絵を描いたのか」の感想を掲載し、考案隊の気持ちがより伝わるように工夫しました。



作成した「こどけんカルタ」を使って、さっそく「カルタ大会」を行いました(11月28日)。



●3月生まれの赤ちゃんの写真是、赤ちゃんの氏名に生年月日、住所、保護者氏名、電話番号とメッセージ(65文字以内)を添えて郵送、または持参してください。2月5日(月)必着。掲載は1歳～3歳で、1人1回とします。応募多数の場合は抽選とします。
●問い合わせ・申し込み先【〒811-3192(住所不要)市役所企画課広報係・☎942局1111番(内線316)】※写真返却希望の場合は、返信用封筒(80円切手を貼ったもの)を同封してください。



おおくほ りき
大久保 力ちゃん
1月1日生まれの1歳
花鶴丘

お誕生日おめでとう。生まれたときは1590gしかなく小さかったけど、今では人一倍元気よく笑顔がたえないね。これからもすなおな子に育ってね。



あだち かいと
安達 海斗ちゃん
1月4日生まれの1歳
舞の里

海斗くんお誕生日おめでとう。いつも海斗の笑顔に癒されます。お姉ちゃんに負けないくらい強くて、たくましい男の子になってね。



のなか りゅうへい
野中 琉平ちゃん
1月10日生まれの2歳
千鳥

お誕生日おめでとう。お兄ちゃんと弟に囲まれて元気いっぱい、いつも笑顔の琉ちゃんが大好きです。明るくたくましい子に育ってね。



ながさき ささ
長崎 咲々ちゃん
1月19日生まれの1歳
花見東

いつもニコニコしている咲々ちゃん。これからもお姉ちゃんと仲良くスクスク育ってね。



きど みづき
木戸 夢月ちゃん
1月20日生まれの2歳
中央

いつもにこにこ笑顔の夢月くん。みづの月のように輝く夢をかなえてね!
Happy Birthday♡

●お願い 写真は顔全体が写ったものをご応募ください。



HIROBA

ケンビのマスコット愛称が決まりました “ハピハピ”でみんなハッピー

ケンビ(県立美術館)が募集したマスコットキャラクターの愛称が、花鶴小学校2年生の村田祐里奈さんの応募作“ハピハピ”に決定。美術館館長らが同校を訪れ、校長室で感謝状や記念品などを手渡しました(12月18日)。祐里奈さんは11月14日からサンフレアこがで開かれた移動美術館を見に行ったときに「美術館を見に来る人みんながハッピーになれば」と、この愛称を応募、300点以上の応募作の中から選ばれました。



チャリティオークション、コンサート、仮装パーティー…… 「わ」をテーマに クリスマス市民祭Ⅴ

12月17日(日)、JR古賀駅前のこいの広場で開催されたクリスマス市民祭Ⅴ。今年(2007年)、古賀市では市制施行10周年を迎えますが、その記念事業プロジェクト「わ」の一環として「輪」をテーマにした市民祭にしたいと市の商工会が主催。この日はあいにく小雪混じりの寒い一日となりましたが、子どものチアダンスやバンド演奏、仮装パーティーなどさまざまな催しに、多くの市民が訪れました。

千鳥苑で盛大にもちつき大会
もちが取り持つ”縁”
市社会福祉センター千鳥苑の中庭で、千鳥小学校区福祉会主催による恒例のもちつき大会が行われました(12月2日)。この日、用意されたもち米は全部で1000kg。臼(うす)にして約40臼もの量を大人から子どもまで総出で臼と杵によるもちつきに挑戦。できたのもちは、さっそく同校区内約200人の一人暮らしのお年寄り(75歳以上)宅へ配られました。



ピーチーズ古賀(青年女子バレーボール部)が快挙 初出場で初優勝!

第55回全国青年大会が東京の江戸川区総合体育館で行われ、バレーボールで福岡県代表として出場したピーチーズ古賀(青年女子)が初出場で初優勝の快挙を成し遂げ、その優勝報告に古賀市長を訪れました(12月5日)。ピーチーズ古賀は20歳から24歳までの看護師や会社員、学生らで結成された社会人チームで、2002年の結成からわずか4年で全国一のチームにまで成長。青柳真弓監督は「強くなりたい、でも、楽しくなければ意味がない。今では笑いながらきついことができるチームになった」と胸を張ります。



日本一住みたい「川」!? 花鶴川にサケが戻ってきました

11月25日15時ごろ、古原拓治さん(福津市)が花鶴川を何気なく眺めていたところ、コイとは違う魚影を発見。するどい流線型のスマートな魚体、そして側面のしま模様、「サケに違いない」との確信をした古原さんは、すぐに友人の橋豊文さんに応援要請をしました。二人がかりで奮闘すること小一時間、捕獲したのは堂々たる体格のサケ(オス、75cm)でした。

古賀市の川にサケが戻ったことは、新聞でも取り上げられ大きなニュースとなりました。また、川をきれいにするさまざまな取り組みが実を結んだとも考えられます。このニュースは広報で詳しく特集予定です。

●「広報こが」は、古賀市の公式ホームページ(<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>)でもご覧になることができます。

このコーナーは、一生学習していこうという生涯学習の考えを基本として、市民の皆さんに情報を提供しています。

よんでみませんか



題名 「読む力・聴く力」
著者 河合隼雄・立花隆
谷川俊太郎
岩波書店 刊

あらすじ

高度情報社会のいま、コンピューターの普及で、情報は簡単に手に入るようになりました。しかし、インターネット上の情報を「読むこと」「聴くこと」が、人間の生き方や社会のあり方にかかわる深い体験になっているのでしょうか。この本は、臨床心理学者の河合隼雄氏、ノンフィクション作家の立花隆氏、詩人の谷川俊太郎氏の3人が現代における「読む力・聴く力」の意味を問い直そうとするものです。講演会の内容や、対談、谷川氏の詩のアンソロジーなどが収録されています。



2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

●は休館日です。

※第4木曜日は整理休館日

■開館時間…10時～18時

■おはなしかい
3日(土)、10日(土)、17日(土)、
24日(土) 11時～11時30分

■赤ちゃんおはなし会
21日(水) …11時～11時20分

■名画会
10日(土) …14時～(上映時間 90分)
「汚れなき悪戯」(スペイン映画)

■子ども映画会
次回は3月開催の予定です。

第346回 図書館だより

第38回 古賀市親子読書のつどい

第38回古賀市親子読書のつどいを開催します。今年度図書館だよりで紹介している市内8つの「親子読書会」が、親子で読書の楽しさを共有し、心の結びつきを深めるよう取り組んだ活動の成果を発表します。ことばあそびや楽しい劇などがあります。どなたでも参加できますので、お友だちを誘って、またはご家族連れで、ぜひ見に来てくださいね！



第37回 親子読書のつどいの様子

日時 2月10日(土) 10時～12時
場所 古賀市中央公民館 大ホール

【対象】一般市民
参加は自由です。

親子読書会紹介



会はじめの本の読み聞かせの様子

古賀市内の8つの小学校にはすべて親子読書会があります。昭和37年、児童文学作家椋鳩十氏が提唱した「母と子の20分読書」から始まった読書会は、家庭内での親子の読書を基本に、月1回の例会で本から発展した活動を行っています。また、年に1度、「古賀市親子読書のつどい」を開催しています。平成16年4月にはこれまでの約30年の活動を評価され、「子どもの読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣表彰を受けています。このコーナーでは、これらの読書会のユニークな読書活動を紹介いたします。

千鳥小学校親子読書会 毎月1回の活動は、本の読み聞かせや本の紹介から始まります。読書会や科学遊び、プラネタリウム見学などの体験活動、ときには講師を招いてのおはなし会など、本を身近に感じながら、交流・親ほくを深める活動をしています。

図書館まつりを終えて

開催期間
10.28(土)
11.5(日)

●「ブックリサイクル」「布おもちゃ・布絵本であそぼう！」「読書感想画優秀作品展」など恒例の催し物のほか、新たな企画として「図書館マナーアップ川柳」に取り組み、多くの応募がありました。川柳の入選作品は、本の貸し出しの際にお渡ししているレシートに月替わりで載せています。ご覧になってくださいね！●10月29日には「古典文学講座」を特別企画として開催し、小野小町についてのお話にたくさんの参加者が聞き入っていました。11月3日には初の試みとして「ワークショップ」も開催し、28組の親子連れを中心とした参加者が、お菓子の家作りを楽しみました。11月5日の「秋のおはなし会スペシャル」では、市内7つの文庫による工夫を凝らした内容で、多くの親子連れが楽しいひとときを過ごしていました。この図書館まつりをきっかけに、1人でも多くの市民が図書館を訪れ、繰り返し利用していただけるよう願っています。



布絵本、布おもちゃで楽しく遊ぼう



「図書館マナーアップ川柳」発表展示

※古典文学講座は講師の都合上、日程を変更し、開催いたしました。大変ご迷惑をおかけしました。おわびいたします。



初心者対象

ITサポートセンター
土曜窓口 開設のお知らせ

●現在、毎週日曜日に開設しているITサポートセンター(パソコン相談窓口)の土曜版窓口を開設します。対象は初心者の方で、窓口では市民インストラクターが親切に指導します。また、電話による相談もお受けします。

■期間

平成19年1月～3月

■曜日・時間

すべて土曜日 9時～16時

■場所

古賀市中央公民館
研修棟202号室

■電話窓口

☎943局8754番

【開設日程】

1月	20日・27日
2月	3日・10日・17日・24日
3月	3日・10日・17日

※日曜窓口(初級～上級者まで対応：
毎週日曜日9時～17時)も
引き続き開設しています。



市民インストラクターが親切に指導いたします。
初心者の方、気軽にご相談ください!!

問い合わせ先 生涯学習課社会教育係 ☎941局6266番

市立歴史資料館
FAX 944局6214番
944局6215番
http://www.lib-citykoga.org

■入館料
当日券 大人/1300円
前売り券 大人/1000円
高大生/800円
問合わせ先 ☎(0570)00局8886番

九州国立博物館は、平成17年1月に開館して2年目を迎え、予想をはるかに上回る220万人の入館者を記録し、にぎわっています。期間中、伊藤若冲を中心に、江戸派の画家など、江戸絵画のコレクションが展示されます。作品に共通するのは、独自の自然観察と個性豊かな表現技術で描かれた江戸絵画の魅力が鑑賞することができます。



1月1日(月)～3月11日(日)

九州国立博物館
若冲と江戸絵画

歴史資料館だより

平成18年度第4・5回再就職サポートセミナー

妊娠、出産、育児または介護を理由として退職した人が離職期間のブランクを克服し、就職活動を成功できるように支援することを目的とする。求職活動に役立つ知識、情報を提供し、トレーニングを行うことにより、再就職活動の支援を行います。

9時30分～16時
 宗像市働く女性の家(宗像市赤間4-2-1)
 ☎(0940)334751
 ②平成19年2月16日(金)
 9時30分～16時
 福津市ふくとびあ(福津市手光南2-1-1)
 ☎(0940)343353

■内容 最近の求職状況、求人情報の見方、履歴書・職務経歴書の書き方、仕事探しのポイントなど
 ■受講料 無料
 ■申し込み 平成19年1月1日から受付を開始し、講座の1週間前まで
 ■申し込み・問い合わせ先 宗像市働く女性の家(宗像市赤間4-2-1)
 ☎(0940)334751
 FAX(0940)352684
 ②福津市男女共同参画推進室(福津市中央1-1-1)
 ☎(0940)4318116
 FAX(0940)433168
 古賀市人権・同和政策課
 ☎942局1111番
 ■託児有り 宗像会場 1歳から就学前/無料
 福津会場 6か月以上就学前/300円



Spot Light
 第7回福岡県障害者文化祭が博多大丸パサージュ広場で開催されました(12月2日)。古賀市からはシンコスモ演芸部10人が合唱や踊りを披露し、通りかかった人たちも思わず足を止めて見入っていました。

■定員 各会場20人(先着順)
 ■受講料 無料
 ■問い合わせ先 NPO法人えふネット福岡
 ☎・FAX 716局1350番
 ■日時 2月10日(土) 14時～16時
 ■会場 市中央公民館大会議室

月に示された「日本版救急蘇生ガイドライン」を踏まえた新しい救命処置(AED)の取り扱いを含んだの講習です。ぜひ、この機会に受講しましょう。受講者には「普通救命講習I修了証」が交付されます。
 ■日時 2月18日(日) 9時～12時
 ■会場 粕屋北部消防本部

■受講費用 無料
 ■受講資格 中学生以上
 ■申し込み方法 粕屋北部消防本部、または新宮分署に備えている申込書で申し込んでください。ファックスでの申し込みもできます。定員(50人)になり次第締め切ります。
 ※電話での申し込みは受け付けておりません。受け付けは1月18日(木)から開始します。
 ■問い合わせ先 粕屋消防本部警防課係
 ☎944局0131番
 FAX944局0462番

福岡県コミュニティビジネス起業セミナー開催
 地域の課題解決や地域活性化のために、地域の住民が

今月のスポットポイント

フリーマーケットや分別収集に出せない古着など、捨ててしまう前にもう一度活躍させてはどうでしょうか？ あらかじめ使いやすいサイズに切って、テーブルの取りやすいところに置いておきましょう。しょう油やソースなどをちょっとこぼしたときなど、キッチンペーパー代わりにさっと使えて便利です。

市役所環境課
 ☎942局1127番

主体的に事業を行う「コミュニティビジネス」。県では地域主体の新しい事業スタイルとして注目されているコミュニティビジネスの起業セミナーを開催します。具体的に事業イメージをお持ちの地域貢献・自己実現を考えている人が対象です。

■日時・場所 2月17日(土)・18日(日) 筑後会場(久留米市のえーるピア久留米) 2月24日(土)・25日(日) 筑豊会場(飯塚市の立岩公民館)
 ※いずれも9時30分～16時30分

■内容 古賀東校区「元気な地域、かがやく大人と子どもをめぐって」小野校区「地域づくり・ひとつづくり」花見校区「花見小学校コミュニティ『松原ネット花見』の充実」千鳥校区「安心して安全な、住んでよかった地域づくりを目指して」コーディネーター…峰尾一路氏(元西日本新聞社記者)
 ■問い合わせ先 古賀市コミュニティ推進室
 ☎942局1260番

■内容 古賀東校区「元気な地域、かがやく大人と子どもをめぐって」小野校区「地域づくり・ひとつづくり」花見校区「花見小学校コミュニティ『松原ネット花見』の充実」千鳥校区「安心して安全な、住んでよかった地域づくりを目指して」コーディネーター…峰尾一路氏(元西日本新聞社記者)
 ■問い合わせ先 古賀市コミュニティ推進室
 ☎942局1260番

最終回 地域の消防団

このコーナーは古賀市内の消防団を紹介するコーナーです。消防団への入団希望者は各地域の地元消防団が、古賀市総務課庶務係(☎942局1112番)までどうぞ。

地域防災の切り札として、古賀市の安全は私たちが守ります。古賀市消防団紹介のフィナーレを飾るのは、古賀市消防団の指揮をとる団幹部の紹介です。長く消防団活動にかかわる中で培ってきた消防に対する思いを語っていただきました。



写真：上段左から 小山貴史本部長、大橋正明副団長、長山淳消防主任、下段左から 阿部清彦副団長、水上哲実団長、清水深副団長



水上哲実団長●本業を持ちながらも、本業をおろそかにせず、『自分の手で地域を守る』というしっかりした信念と使命感を持つ、このような強い気持ちは消防団ならではの訓練を欠かすことができません。人知れず努力する団員を地域ぐるみで応援してください。清水深副団長●年に3回(3月、11月、12月)の夜警や、独居高齢者宅をこまめに防火訪問することなど、地道な努力の積み重ねが安全・安心のまちづくりに役立っていると信じています。大橋正明副団長●気が合もった操法大会を多くの市民に見ていただきたい。そして、大きな声で応援していただきたい。団員はそういう気持ちをもって元気が出るのです。
 小山貴史本部長●伝統ある古賀市消防団。伝統とは栄光を語り継ぐだけでなく、地域を守り抜く決意を受け継ぐことだと思います。これからはずっと伝え続けていきたい。長山淳消防主任●団幹部の担当をしっかりと、家族のつながりや理解のたいせつさがいかに大事かがわかります。消防団員の家族の人は、誇りを持って支えてあげてほしい。

古賀市 10万本ふるさとの森づくり

第6回 植樹祭
 今年で6年目を迎える古賀市10万本ふるさとの森づくり。今年も1万本の植樹を予定しています。あなたも未来に残る記念樹を植えてみませんか。昼食におにぎりと温かい豚汁を無料で提供します。恒例のお楽しみ福引もあります。
 ■日時 平成19年3月10日(土) 9時30分～13時(受付9時～)雨天決行
 ■場所 古賀グリーンパーク
 ■対象 市民及び希望者(小学生以下は保護者同伴)
 ■持ちこたえもの ●持っている人は、スコップ、移植こてなど ●豚汁用の器とはし、「ごみ減量のため食器の持参にご協力ください」
 ■申し込み・問い合わせ先 古賀市役所企画課
 ☎942局1113番
 FAX942局3758番
 Eメール kikaku@city.koga.fukuoka.jp
 ※電話、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。お申し込み時に、参加者全員の氏名、年齢、連絡先電話番号(緊急連絡用をお知らせください) ※団体で参加されますと、看板(1か所)に団体名を記入します。
 申し込み締め切り 平成19年3月2日(金)

世界だけの花を咲かせよう

昨年の12月10日(日)、市中央公民館で第31回古賀市人権を尊重する市民の集いを開催。

テーマを「世界に一つだけの花」く私だけの花を咲かせよう」にし、若者層の参加を目的に出演4団体からそれぞれの活動を通じた「人権」についてのメッセージの発信と、演奏・演技を披露していただきました。フィナーレでは古賀市民吹奏楽団による演奏で「世界に一つだけの花」を、会場に集まった皆さんと一体となって大合唱を行いました。

みんなで作りあげた「市民の集い」出演者からコメントをいただきましたので紹介します。

【玄界高校 邦楽部】

●今回、初めて「人権のつどい」に参加しましたが、作文や手話など心にしみるものがあり、すごくよかったです。

●他の団体の皆さんといっしょにできてよかったです。堅苦しいイメージを持っていましたが、すんなり溶け込むことができました。今後ぜひ続けてほしい。

【古賀高校チアリーディング部】

●観客の皆さんが盛り上げてくれて、楽しかったです。今後ぜひ参加していきたい。

【舞の里小学校】

●人が持つ権利について考えることができました。●みんないっしょになって何かをする楽しさを味わえた。



古賀市民吹奏楽団

このように出演団体からとてもうれしい声がいっぱい寄せられました。人権尊重は決して堅苦しいものではなく、より身近で関心が持てることなのだ、と理解していただけるきっかけになったようです。また、意見発表・作文発表では6人の出演者にそれぞれの思いを語っていただき、参加者にも大きな感銘を与えました。市では、今後も地域や世代間など、人と人との交流を通して一人ひとりの人権が尊重される「いのち輝くまちづくり」を目指した取り組みを進めていきます。



玄界高校 邦楽部

【古賀市民吹奏楽団】
●今までは違う形での開催でしたが、一体感があってよかったです。

●この「市民の集い」に参加してほんとうによかったと思う。

●「市民の集い」は、ことなく重苦しいイメージがあつたが、今回は熱気があつてよかったです。今後ぜひ参加したい。



舞の里小学校



出演者全員で記念撮影

点描

編集後記

●明けましておめでとうございます。平成9年(1997年)に古賀町から古賀市に移行して10周年を迎える今年は、さまざまな記念イベントなども数多く予定されています。●さて、皆様のお手元にお届けしている

この「広報こが」も、今月号で第600号、毎月1回の発行と仮定して、実に第1号発行から丸50年が経過したことになります。●今、自治体からの情報は、インターネットなどさまざまなメディアから収集することができますが、いつでも手で確認ができ、安定した情報供給源として紙媒体による広報紙は今後もなくてはならない存在です。●今後もオールカラーページ化

などにも積極的に取り組み、親しみやすい紙面作りを心がけていきますので、よろしくお願

いたします。なお、今月は全ページオールカラーの「広報こが」をお届けします。(松田)

インターネットに接続可能な携帯電話からもご覧いただけるホームページを開設しました

携帯電話用アドレス
http://www.city.koga.fukuoka.jp/m/

※一部の携帯電話ではご利用できないことがあります。QRコード対応のカメラ付き携帯電話で右のコードを読み取ると、古賀市の携帯電話向けホームページへ素早くアクセスできます。

古賀市公式ホームページQRコード



ひとのデータ

人口	57,152人
男性	27,560人
女性	29,592人

データ ●2006年12月20日現在

●特別編集スケジュールのため、12月20日に集計したデータとなっております。12月末現在の「ひとのデータ」は次号でお知らせします。